

能登半島地震 復興支援ニュース

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

能登半島の被災地支援で活動されている災害NGO結、NPO法人リエラへ、コープいしかわと日本生協連より活動支援金を贈呈しました。



写真に写っている皆さま（左から）コープいしかわ 大谷理事長、NPO法人リエラ 代表 松永鎌矢さん、日本生協連 嶋田専務。

贈呈は、両団体が参加するNPOネットワークが運営する旧七尾市立西岸小学校を利用した「西岸広域支援拠点」で行いました。



西岸広域支援拠点には、大阪府生協連が飲料水 200ケースを毎週定期便で支援。いつも支援活動を牽引してくださりありがとうございます！

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年2月27日発行 NO.18

CO-OP



せいきょうから、あしたへ



災害NGO結 代表 前原土武さんへ、コープいしかわの大谷理事長より贈呈。コープのお水を背景にして贈呈式をさせていただきました。

発災直後から輪島市内で炊き出しを行っている民間グループに「お米」を寄付しました。



2/22 (木) お米1.5 t をお届けしました。前回2/10 (土) の納品分1.5 t と合わせ3 t。約1か月分です。



地元のシェフたちが中心となって活動し1日1,500~2,000食を提供しています。避難所や病院などへの配達も行っています。



CO-OP



2月9日 (土) 石川県輪島市内の輪島工房長屋前の炊き出し所に並ぶ列。

食事提供の様子。

被災後の食事はパンやカップラーメンが中心。栄養が偏り、高齢者の方は体調を崩しがちに。「栄養のあるあたたかいものを食べてほしい」という思いを込めて。